

(様式第4号)

## 上田市学校給食運営審議会(第1回) 会議概要

1 審議会名	学校給食運営審議会
2 日時	令和5年12月1日 午後7時から午後8時30分まで
3 会場	市役所本庁舎 2階 202・203 会議室
4 出席者	山邊久史会長、小池瑞季副会長、遠藤良和委員、金井剛委員、城下敦子委員、城田真裕委員、永井幹則委員、八巻恵子委員、横澤智昭委員
5 市側出席者	峯村教育長、小野沢教育次長、清水第一学校給食センター所長、武捨第二学校給食センター所長、坂口丸子学校給食センター所長、小須田学校保健給食課長、浅野学校保健給食課学校保健給食係長、池田学校保健給食課主査、山浦学校保健給食課主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	3人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和5年12月28日

協 議 事 項 等

1 開 会 (事務局)
2 教育長あいさつ (峯村教育長)
3 人事通知書交付・委員自己紹介
4 教育委員会職員自己紹介
5 会長及び副会長選出 会長に山邊久史委員、副会長に小池瑞季委員を委員の互選により選出
6 諮問
7 協議事項 (1) 上田市学校給食の概要と現状・学校給食費の推移等について <ul style="list-style-type: none"><li>資料に沿い、事務局から「上田市の給食について」「給食費について」「令和5年度の給食費の状況」の概要を説明</li><li>以降、協議</li></ul> (委 員) 給食センターは見積りを取り、なるべく安いものを選んでいる。魚が嫌いな子が多く、もっと脂ののった魚を提供できると「魚は美味しい」と感じてもらえるのではないかと考えるが、安価な魚にたれをかけて工夫をしている。また、学校訪問で子どもたちに聞くと、もっとデザートが欲しいとか、果物が欲しいと言われるが、やはり給食費の関係からそのあたりを節約せざるを得ない現状がある。子どもたちにより美味しく、また楽しみである給食をこれからも提供していきたいので、本当にお願ひできればと思っている。 <li>(委 員) 小学生も中学生も、子どもたちは本当に学校給食を楽しみにしている。毎回工夫されている給食を食べることが、毎日の活力になる部分がある。確かに今話の中で、魚にたれやチーズをかけたり、様々な工夫がされている。魚の種類も、単価の高いものでなくても工夫をすれば、子どもたちが魚を食べている。今の子どもは魚を食べないというようなことがあるが、それでもよく食べている現状がある。 とにかく小学生や中学生は本当に成長する時なので、大事な心や身体を作っていくために、このカロリーや質と量を落とさないように、学校現場としてはぜひお願いしたい。</li> <li>(委 員) 保護者の意見として、初めてこのような会議に出席し、様々な工夫がされていることにとても驚いた。うちの子どもも、給食がとても好きである。きのこが苦手家ででは食べないが、給食では食べられるということもあり、やはり給食はとても大切だと実感している。 今、給食センターは献立表だけでなく SNS などで発信をしているので、保護者としてはどのような物を食べているのか、献立表だけでは分からないところを確認でき、とても</li>

有難いと思っている。

この給食費の会議に出席するにあたり、他の保護者の方とも話しをしたが、やはり子どもたちの給食はとても大切で、1日3食を食べるうち、給食で結構な栄養を補っているという話しをすることが多く、少し給食費が上がるということに対しても、何人かの方から「もうそれはいいのではないか」という声があった。やはり、「子どもたちの栄養を考えると、このままの金額で量や質が悪くなってしまふのは困る」という意見もあったので、保護者目線の意見を伝えさせていただいた。

(委員) 6年前に丸子学校給食センターの監査をさせていただいた。丸子の給食センターは確かに頑張って仕入れていると思うが、国産にこだわらないで、肉などもう少し安いものを使うタイミングを増やしていかないと、給食費が上がっていく一方である。そういった仕入れ先を少し見直すことが重要なのではないか。今日は説明なので、これから基本的には給食費を上げていきたいと思いますという流れになると思うが、それに対して資料に8ヶ年の推移があったので、できればもう2年分くらい予想みたいな感じで推測を出してもらえれば、来年またこのような会議を開かなくても良くなり、また次回もそのような話しがしやすいのではないか。

(委員) 野菜と果物はどうしても天気によって左右されることが多く、今年に関しては8月から9月にかけて過去最高の値段になったものが3品ほどあり、例えば人参やトマトが有り得ないほど高かった。コロナやウクライナ関係で全体的に値上がっているのは確かで、物価高騰に合わせて、またその後の2024年問題、トラックの運転手も日本全国で物流関係が出てくるため全体的に上がっている。上がったところでなかなか下がらなくなってきている。このように主食だけではなく、これから副菜の方も上がっていくと感じている。先ほどの委員が言ったとおりに上げるのが、規定路線になるのではないかと思う。

(委員) やはり物価高騰の折なので本当にやむを得ないと、先ほど保護者の方の意見もあったとおり、給食費が上がるのは仕方ないという方向性かと思う。

しかし、上田市の学校給食の特徴の説明で7点挙げていたが、国産のものを使う、地場産物を使う、天然素材からだしを取るよう手作りする等は、素晴らしいことではあるが、かなり理想である。理想だが、その現実はどうだということもある。例年以上に切迫した理想と現実のせめぎ合いの年に、ここ数年はなっているのではないか。なので、給食費の値上げは致し方ないとしても、物価が上がったからスライドで給食費を上げるのは仕方ないという考え方ではなく、給食費がある程度安定した中で、上田市がどこまで特徴を出しつつ、安心安全な給食を提供できるかということ、短期的ではなく少し何年か先まで考えて決めていかないといけないのではないか。この上田市の学校給食の特徴も基本的な理念、理想はこれで良いとは思いますが、それでは立ち行かなくなっているご時勢に対して、どこまで特徴を生かしつつ、市として許容できるのかを考えていかないと、追いついていってしまう。ぜひそのあたりを現場や保護者の声、子どもたちの声をよく聞きながら、市として工夫してほしい。

昨年もこの審議会に出席した際、保護者の方にとりあえず市の給食を解っていただく努力をしていくのかということ疑問に思った。また、子どもたちの食育もとても重要であり、その子どもたちが将来大きくなった時に、食品を選ぶ力もつけないといけないと思う。実際にお腹に入る栄養の素材や価格も大事であるが、食育の部分をととても大事にして施策を進めてほしい。

(委員) 第二学校給食センターでは、食育も大事にしている。その中で地域の物を使う、国産の物にこだわるということは、子どもたちに自分たちの育ってきた所を大切にしてもらいたい、国を大事にしてもらいたいという思いもある。果物に関しては減らすこともあるが、野菜は見積りを取った中で適正な量を豊富に使わせていただいている。そのあたりは安心してほしい。食育を行う中で、地場の物を大事にしていきたいという気持ちも子どもたちに伝えていきたいと思っている。その点のご理解いただきたい。

(委員) まずはこの資料を見たり、説明を聞き、皆さんの苦勞によって子どもたちの給食が成り

立っていることが良く解った。頭が下がる思いである。また、給食費の値上げ分を公費で負担し、保護者の負担を今までどおりにしているということも初めて知り、上田市の行政の施策についても有難く思った。この会議は、もう値上げしても仕方ないということになると思っている。

保護者としては、学校で1食、子どもたちが食べる食事がかなりの栄養を占めていて、家庭ではなかなか摂取できない物も考慮されており、引き続き関係者の皆様にはお願いしたいと思う。

(委員) 真田地域は自校給食であり、合併前からの給食費の違いがあるという話を聞いていた。統一した方がいいというご意見もあるかもしれない。元々その地域性や自校給食に対して誇りを持っている方たちがたくさんいる。私はよそから来た人間であり、歴史的なものを聞き、大事にしないといけないと思うが、スケールメリットの話を知ると、他よりも安い部分をこのまま守り続けていく、その10円の差を死守する、そちらを目標にしていると、またいろいろな意見が出てくるのではないかと思う。

安い部分が経営努力だったりすればいいかと思う。地域のそういった事情であったり。ただ、その10円の差によって、子どもたちの食べる物が他の地域よりもということになると、またいろいろなご意見が出てくるのではないかと思う。

安心安全のものと経営努力という部分、美味しく安心で、かつ安いものを何とか経営努力でという部分で、一番怖いのが、結局業者が駄目になってしまう。あまり給食を出してもらおう側が強くなって、結果共倒れみたいな感じになるのも怖いので、難しいと思うが、真田地区の良いところをいかに守っていきつつ、長く継続していけるような体制について、いろいろまたご意見いただき、ご教示いただきたい。

(委員) 19市の給食費はそれぞれ違うが、これによってメニューの違いを県内で話し合ったことがあるのか。

(事務局) 献立の内容については、それぞれ栄養教職員がいるので、給食施設で異なっている。地域差のところでは、例えば配達業者が少ないのでどうしても限られてしまう。特に一番高い塩尻市などに昨年度も確認したところ、高く豪華なものを出しているというわけではなく、自校給食校が多く、配送業者が限られてしまうので、食材単価が上がってしまうとのことであった。

## 8 事務連絡

次回の日程について

## 9 閉会（事務局）